

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	4	1	スペースが広々としているため、学習と活動のスペースに区切り、視覚的にも分かりやすくする等、過ごしやすい環境になるように工夫しております。	スペースが広いが、療育内容に応じてパーテーションで区切り、安全面にも考慮した支援に努めてまいります。
	2	3	2	職員は法令の定めた基準を満たしており、職員全員が有資格者で、児童指導員、保育士、理学療法士、作業療法士で構成されております。	
	3	1	4	事業所がビルの2階にあるため階段昇降が必要となっております。しかし、2階の室内・トイレ等、ほとんどがバリアフリー空間となっており、過ごしやすい環境となっております。	事業所が2階のため階段の昇降が必要になっておりますが、壁面を装飾し、階段には数字カードを貼ることで自然と数唱が楽しめるよう工夫しております。2階の室内は、写真やイラスト、文字を用いて児童に分かりやすい環境作りに努めております。
業務改善	4	4	1	毎日、朝礼を行い、業務連絡・療育内容の確認など話し合いの場を設けて全職員に周知できるようにしております。また月1回フレクシオン会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように回っております。	シフト制勤務のため、全職員で共有できるような伝言板を活用し、情報漏れのないよう、職員全体で共有しております。
	5	5		年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援に繋げております。また、入口に意見箱を設置し、保護者様の意見に寄り添って対応できるようにしております。	
	6	5		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7	5		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	2	3	本社で企画された研修や動画を朝礼などの時間を使い、資質向上に努めております。	
適切な支援の提供	9	5		児童発達支援管理責任者が中心となって、利用開始前や定期的に、保護者様に説明したうえで児童の状況や保護者様のニーズ等、把握した情報を支援計画に反映させております。	
	10	5		社内共通様式で標準化されたアセスメントシートを使用しております。	
	11	5		職員の一人ひとりが、それぞれの専門職の立場から意見を出し合い、支援の方向性を決め、活動内容を考えております。	
	12	5		活動内容が固定化しないよう、全職員のアイデアや支援方法などの意見交換の時間を大切にしております。その時間を通して、活動の内容や進め方に備りが生じないように工夫しております。	
	13	5		職員間で話し合い、課題を決め、小集団活動で取り入れながら療育活動を行っております。また、個別活動については、児童に合ったレベルを考えながら支援しております。長期休暇については、児童が楽しめるようなイベントを企画しながら、平日ではできない支援も取り入れております。	
	14	5		個別活動と集団活動を、一人ひとりの特性、発達段階、年齢、保護者様のニーズに応じて、計画的に組み込んでおります。	
	15	5		毎朝、朝礼を行い児童の様子や状況を伝達し、支援内容の確認などをおこなって日々の支援に努めております。	
	16	5		勤務がシフト制のため、支援終了後の全職員での打ち合わせはございません。翌日の支援前には必ず打ち合わせをおこない、共通理解を図っております。	
	17	5		支援内容やその日の体調等を記録し、気になったことは職員間で周知しております。その記録をもとに支援の改善を図ったり、職員間で情報共有を行っております。	
	18	5		半年に一度、必ずモニタリングを行っております。送迎やお迎え時にも現状把握を行い、支援計画の見直しをおこなっております。	
関係機関や保護者様との連携	19	3	2	定期的な保護者様との面談を実施し、児童の発達状況や課題、保護者様のご意向を検討しガイドラインから必要な項目を選定し、支援内容を設定、掲示しております。	今後もガイドラインを参考にしながら、保護者様や児童に寄り添った療育支援をおこなってまいります。
	20	5		児童発達支援管理責任者だけでなく、ひとりの意見に偏らないよう、対象児童の状況を理解し、説明ができる職員と一緒に参加できるように努めております。	
	21	5		関係機関と積極的に情報共有をおこない、必要に応じて連絡調整をおこなっております。	
	22	5		現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっておりますが、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	5		必要に応じて電話連絡や訪問をおこない、支援内容や活動内容などの情報共有をおこない、相互理解を図っております。	
	24	5		該当する児童がいないため、今年度はおこなっておりません。	今後、該当する児童が通所する場合には適切に対応できるよう準備してまいります。
	25	2	3	必要に応じて電話連絡をおこなっておりますが、連携や研修はおこなっておりません。	積極的に連携を取り合い、研修や助言を受けられる環境作りを心がけ、他事業所との繋がりを大切にしております。
	26	5		事業所発信での交流の機会はありませんでしたが、放課後児童クラブや児童館に通っている児童も複数おり、個々で障害のない児童との交流があると考えております。	事業所発信の交流会は厳しい面もあるため、今後は保護者様のご意向に沿いながら、検討してまいります。
	27	5		会議等への参加の機会はありませんでした。	コロナも第5類になり緩和されたため、協議会が開催される場合は、積極的に参加し、児童への支援に繋げていけるよう努めてまいります。
	28	5		児童の様子や療育内容は日々の連絡帳に記載しております。また、送迎時にもその日の様子ができるだけ詳しくお伝えするよう心がけ、保護者様との共通理解に努めております。	
保護者様への説明責任等	29	3	2	送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めております。また療育上で、ご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	今後も保護者様の気持ちに寄り添い、事業所と統一した支援を行いつつ、児童の成長を支援していきけるよう努めてまいります。
	30	5		保護者様に分かりやすいように丁寧な説明をおこなっております。契約後に不明な点があれば、納得されるまでご説明するよう心がけております。	
	31	5		連絡帳でのやり取りや送迎時の機会を通して、保護者様からのご相談やお悩み等を丁寧にお聞きし、助言やアドバイス等をおこなっております。職員間でも共通理解を図り、保護者様が安心してご相談いただけるような環境作りに努めております。	
	32	5		現時点では、父母の会を開催することができておりません。	保護者会等の開催につきましても、保護者様のご意向に沿いながら検討してまいります。
	33	5		保護者様からの苦情はいつでも対応できるよう入口に意見箱を設置しております。保護者様からのご相談や申し入れに対しては迅速に対応しております。	
	34	5		ブログや事業所だよりは職員間で意見や提案をおこないながら作成しており、日頃の様子などを定期的に当事業所の様子を発信しております。また、事業所内にも掲示して、いつでも目を通せるように工夫しております。	
	35	5		個人情報、鍵付きの書類にて管理をおこない、書類等を破棄する場合には必ずシュレッダーを使用することを徹底し、外部に与える場所では、カーテンで目隠しをする等、細心の注意をおこなっております。	
	36	5		常に意思疎通には配慮し、主に連絡のやり取りには連絡帳を使い、保護者様の気持ちに寄り添いながら共感し、送迎時には詳しい内容をお伝えしております。	
	37	5		地域住民の方たちを招待する企画運営はできておりません。	保護者様のご意向に沿いながら、地域での事業所のあり方などを検討してまいります。
	非常時等の対応	38	4	1	事業所にマニュアルを設置しております。計画を立てて、どのような場合でも全職員が対応をおこない、対応に努めております。
39		5		避難訓練は、年間計画を立てて児童も参加し、定期的に全職員が共通理解のもと、実施しております。事業所だよりを通して紹介しております。	年に一度、地域の消防署の立ち合いもで訓練の実施を検討してまいります。
40		5		虐待を防止するため、定期的な児童への対応、様子、意見を出し合い、全職員が周知徹底に努めております。	
41		5		利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記載しておりますが、やむを得ず必要となる場合については、保護者様の承諾を得て支援計画に記載するようしております。	
42		5		アレルギーについては、初期アセスメントで必ず聞き取りをおこない、全職員共通理解とともに、定期的な情報確認をおこなっております。	
43	5		ヒヤリハット報告を徹底し、紙面に残して回覧し、職員間で周知し、ミーティングをおこないながら再発防止につなげております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。